

会見記録

記者会見 「来年夏までに全ての小・中学校にエアコンを設置」

【説明】

市長 今年の猛暑を受け、市民の皆さまのご意見、そして内部でも数日間議論を集中的に行い、来年の夏までに全ての小中学校にエアコンを設置していきたいと思えます。

詳細については、ひとつめが、市内全ての小・中学校にエアコンの整備を前倒し、来年夏に間に合うように設置したいということです。

ふたつめは、その財源確保のため、我々も予算の編成の中でしっかりと努力し、財源についてコストを出来る限り削減をしていく、エアコン設置に関するコスト自体の圧縮も全力で努力する、その他市全体の予算を効率化していくと同時に、ふるさと納税の「小中学校エアコン設置サポートコース」を市内、市外に向けて、一層PRをしていく、また、国、県にもエアコンの設置に向けての動き、菅官房長官や荒井知事からも発言がありましたが、具体的な動きをしっかりと注視しながら、国県の支援も頂けるよう努力することはもちろんですが、実際にお子さんが小中学校に通われている保護者にも協力を呼びかけたいと思っています。その具体的な形として、PTAの皆さまの力を借りて、もちろん我々職員、私も参加しますが、募金活動等の地道な活動を行います。また、市内のいろんな団体、事業者などにもご理解を頂いてご支援いただけないかと、まちをあげての酷暑に対応する活動を応援していただきたいと思っています。

最後になりましたが、市の事業は今までの優先順位をつけて予算編成をしていますが、今まで以上に厳しい優先順位をつけ予算の見直しを行います。場合によっては、来年度の事業がもう1年先になるということがあるかもしれませんが、その辺りのご理解を求めていきます。大きくこの4つを実施していきます。

なお、エアコンの設計に関する予算は30年度に組んでいますが、これは中学校のエアコン工事の設計に係る予算です。小学校の設計の予算、また、来年夏に間に合うような工事を進めるために、補正予算も計上していかなければいけませんので、議会のご理解を得て補正予算を組んでいくこととなります。

詳細を説明させていただきますと、ひとつめのエアコン整備計画の前倒しですが、文部科学省の29年4月1日現在の調査によると、全国では約半分の学校にエアコンが設置されていますが、奈良県では7.4%で、生駒市ではわずか3.1%です。これは、奈良県の南部や小さな町村の設置率がかなり高いので生駒市が低く見えますが、12市で見ると生駒市と同じほぼ整備されていないところが多くなっています。ただ、この1,2年動きがあり、例えば葛城市、大和郡山市、御所市等では中学校から優先してのエアコン設置に向けての動きがあります。12市の方が町村と比べて奈良県の中でも遅れているというのが事実です。生駒市でも今年中学校から予算をつけて、工事をしていくつもりでした。ただ、今年のこの暑さを鑑みたときに、中学校を先にして小学校を後にするという事は難しいと判断し、同時整備、しかも来年の夏に間に合うように一気に進めていきたいと思えます。

生駒市の一つの特殊事情としては、高度経済成長時代に、全国でもトップ10に入るぐらい人口が増

えて、1年に2つぐらい学校を建てたという、他の自治体では中々ないような整備をしてきている地域です。そういう学校が40年、45年経って、大規模改修が大きな課題になっており、校舎の耐震化や大規模改修を、文科省のモデル事業をしっかりと獲得しながら、進めてきました。トイレの洋式化についても熱心な要望があり、今年の夏休みに全小学校で完了しますが、これについては、奈良県はもとより、関西でも早い段階で整備をしています。給食センターの老朽化に対しても新しいセンターの整備も進めており、このエアコン整備が後回しになっていたことも反省し、前倒しをしてしっかり対応をしていきたいと思っています。

奈良市のデータですが、30年前に比べると7月の最高気温が3.9℃上昇しています、気候が変わったというくらいのインパクトです。環境省にいたときに2℃高くなると大変なことになるということはずっと訴えていたので、4℃上がるということは、昔と比べることはできない、違う認識でなければならないと思っています。もうひとつは、今年度想定していた以上に暑いまた、暑くなる時期が非常に早かったということが正直なところで、今までも暑かったですけれども夏休みに入ってから梅雨が明けるという状況だったのが、今年は豪雨が明けて一気に非常に暑い日が続きました。災害級とも言われますが、異常気象かも知れませんが、来年度こういう状況が起こらないと断言できませんので、梅雨明けが早く暑くなるという可能性はありますので、総合的に考慮した結果、国や県の支援は全力で求めていますけれども、国や県の支援を条件とせず、市としては来年の夏に間に合うようにエアコンの整備を行います。国県の支援が得られなくても、小中同じタイミングでやっていきたいと思っています。

ふたつめですが、小中学校にエアコンを設置するためには約15億円という数字を議会等にも話しています。この15億円の整備費についてもなんとか圧縮できないものかということで、設計、設置の方法等を議論し圧縮していきたいと考えています。

電気代ですが、28度を超えるとエアコンをつけると、小中学校でだいたい年間2,400万円となります。イニシャル、ランニングコストとも結構かかるということです。

国県の動きにも注視していきます。国県に対して申し上げたいのは、これだけ暑いので、支援をしていただけるなら来年の夏に間に合うようなスケジュール感でお願いしたいということです。また、今回の災害でも狭い暑いなど避難所の環境の悪さが大きな問題となっていますので、小中学校にエアコンを設置することは災害時の、避難所という役割から考えても重要だと鑑みて、小中学校への支援、また来年の夏に間に合うようなスケジュールで、国県に前倒しの支援を求めたいと思っています。

三つめに、市民の皆さまにお力をできるだけいただきたいということです。具体的なものとして、ひとつめは、ふるさと納税にこのエアコンのコースを設定しているので、今一度を市外の人また市内の皆さまにもPRしたいと思っています。ふるさと納税の本来の目的は生駒市出身で市外におられる人がふるさと生駒のために納税していただくことです。このエアコンの設置は正にこのことだと思います。夏祭りに帰省している人もたくさんおられるので、夏祭りに行くときに私もこの話をしたいと思っています。

それと同時にふるさと納税は市内の人にはできないのですかという問い合わせを結構いただきます。もちろん市内の人でもふるさと納税ができないわけではないので、お願いをしていきたいと思っています。総務省からは、市内の人から納税してもらったときは、返礼品は控えるようにと指導が来ていますので、生駒市では市内の人にふるさと納税をしていただいても返礼品を返していませんが、今回はエアコンの話を進めたいと思うので、返礼品という形ではなくて、別途市のごみ袋等を粗品ではありますが、お渡ししたいと思っています。なお、税の控除等は市外の方と同じように受けられます。寄附していただいた方に

は氏名を市ホームページで公表するとか、10万円以上の方には、感謝状を贈呈するとか、100万円以上の人には私から直接市民功労章をお渡しとともに、銘板を設置したいと思っています。もちろんこれにつきましては、希望されない方もおられると思いますので、希望者のみとさせていただきます。自分のお世話になった何年何組に寄付をしたいという申し出があればそれもお受けします。併せまして市内の事業者や団体の皆さまにも子どもたちのためにご支援いただけるよう私も含めてしっかりと回りたいと思っています。

小・中学校にエアコンを設置するには、今後の設計や設置方法の検討により減額に努めますが、現時点では約15億円、夏場の電気代だけでも約2,400万円、という多額の予算が必要です。そこで、引き続き、国の補助制度の活用はもちろん、奈良県市長会を通じて県への予算要望も行っていくとともに、市民の皆様にはご支援をお願いします。

ふたつめが、小中学校の保護者へのお願いです。基本的には市の方で設置していくのは当然ですが、今学校に通っておられるお家の保護者には、もちろん強制とかではなくて、お気持ちをいただけるということであれば、設置に係る費用へのお願い、設置した後ランニングコスト光熱費もかかりますので、そういう維持管理に係る経費、これにつきましてもご支援をお願いしていきたいと思っています。

三つめは、PTAの皆さまにも話をし、これだけ市の方でも動くのであれば、自分たちもできることはやりますという非常にありがたいお言葉をいただいておりますので、まずは第1弾として8月6日の月曜日と8月16日の木曜日の朝7時半から8時半まで、この日は熱中症の事件が起きた日で、生駒市では熱中症を忘れない日ということで位置づけて、市内の小中学校にもう一度熱中症対策を気を緩めずにしっかりとやると、ねじを巻く日でもあるんですが、その日に募金活動をしたいと思っています。これについては、この2日間で終わりということではなくて、生駒駅以外になるかもしれませんが他の日にも募金活動をすることはあり得ます。今決まっておりますのはこの2日です。

最後はかなり大きな財政支出になるので、市の事業や予算の見直し、精査していきたいと思っています。これはエアコンつける、つけないにかかわらず、生駒市においては財政に余裕があるわけではありませんので、しっかり毎年事業の見直しを行っていますが、これまで以上に優先順位をしっかりとつけるというようなことは、予算の編成の中で考えていきたいと思っています。中身はこれからではございますけれども、議会はもちろん市民の皆さんにもご理解をいただくべく、しっかりと説明をしていきたいと思っています。

今後のスケジュールですが、エアコン設置に必要な予算を補正予算に計上しなければいけませんので、議会に提案をする予定です。まずは設計費につきましては、中学校の分を中心にとっておりますので、小学校の経費も確保しなければいけないので、早急に補正予算を議会で認めいただくように動きをスタートしているところです。12月議会で設計に基づく工事費の補正予算を組んでいきたいと、あと繰越明許の設定を提案いたします。

今生駒市、奈良県のエアコン状況が遅れているというのは事実でございます。子どもとその保護者に不安、ご心配をおかけしているということに、これからも全力で、たいへんなスケジュール感の中、来年の夏前に設置できますよう、各担当課の部長以下職員に最優先事項ということで取り組んで頂くよう、市役所あげて取り組んでいきたいと思っております。市民の皆さまにもお力をお借りすることが出てくると思いますので、そういうことを今日発表させていただき、お集まりいただきました皆さんに感謝いたしまして、わたしからの説明は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

【 質疑応答 】

記者 設置するのは普通教室に、ということですか。

市長 小学校、中学校の普通教室です。

記者 予算の見直しは、けっこう多いと思いますが、具体的にはどう見直すのですか。

市長 具体的にここでいくらというのは、今はもちろん言えないですが、ソフト、ハード面両方だと思います。例えばいろんなインフラの整備等で他の自治体より前倒しでやってきていますが、まだ、もう1年なんとかかなるといものなどは、後ろにまわしていくということになります。毎年100万円を超える予算については、厳しく査定しておりますが、ソフトの事業につきましても改めて必要性など、市長査定で今まで以上にしていきたいと思います。各部長、課長の理解を得ながら優先順位を考え、エアコンをしっかりとつけていこうことで、減額したり、見直したり、場合によっては廃止ということが、ソフト面でもハード面でも出てくるということです。

記者 夏場の電気代、毎年固定費ということで、2,400万円というのは大変だと思いますが、どうされますか。

市長 生駒市では私も3桁以上の予算からしっかり議論して査定をしていますが、これは4ケタの支出なのでさらに大きいです。エアコンは設置するからには適切に使用すべきと思いますが、無駄使いはしないように省エネでということもあるでしょうし、2,400万円を他の予算でどう削っていくかということもあります。市民のみなさんからランニングコストにも支援をいただくこともお願いしたいと思っております。

記者 荒井知事が定例会見で、市町村に対するエアコンの財政支援のスキームを考えていると言っていますが、期待していますか。

市長 期待しています。ただ、具体的にどういう中身になるのかとか、財政支援の規模感、後は遅くなると来年の夏に間に合わないの、間に合うようなスピード感でお願いしたい。知事がおっしゃっていることを我々も注視していきたいと思っていますし、メディアの皆さんにも確認をしていただければと思います。都道府県でエアコン整備を言っているのは東京都だけなので、知事のご英断だとは思いますが、中身がどれだけあるのか、スピード感、市町村の整備に大きな力になるように期待しております。

記者 エアコンの整備計画の前倒しということですが、もともとの計画はいつ作ったのか。どういう計画だったのか。

市担当者 30年度の当初予算で中学校の設計のみ載せておりました。早くいけば31年度に中学校の工事というイメージを思っておりました。小学校はその後というイメージでしたのでかなりの前倒しということになると思います。

記者 市長のマニフェストで2年後を目途に結論を出したいと書いてありましたが、2年後というのは去年の話ですか。結論は出たのですか。

市長 それは、議会でもご質問頂きましたが、予算をとって、国のご支援もいただきながら、まず中学校から整備すると、議会でも答弁したとおりです。その後小学校も考えていくというスケジュールです。

記者 市長の任期が来年の4月ということで、この時期に大きな決断をするということは選挙を意識していると考えるが。来年4月以降のことを今決めてしまうということに対して。

市長 工事は来年度になりますが、夏に間に合わなければいけないから今決断するという事です。選挙の話は関係なくて、今年の酷暑、これだけ暑いと、朝送り出すときに無事帰ってくるかなと思うのは親心としてわかりますし、当然だろうと思います。これだけ暑いので来年の夏までにエアコンを整備するというのは自然の流れかなと思います。生駒市で10億円以上の支出をすることは、一般会計で350億円のうち、ある程度柔軟に使えるのはごく限られている中で、基金があるから使えばいいとか、そういう単純な発想で行政をしているわけではありません。もっと早くしておけばもっと評価してもらえたのではないかという声もあると思いますが、教育費だけでも私が就任してから5億、10億増やしてきている中で、やはり他の予算とのバランスも考えていかなければなりませんし、高齢者福祉の予算も毎年数億円ずつ伸びていく中で、全体を考えた予算編成を、ある意味苦渋の、ギリギリの決断をしたわけです。選挙だけを考えるならもっと早くするという事になったと思いますが、そこは財政規律を考えたものです。また、市民受けだけ考えるのなら、市民に協力を要請せず、市だけでやれば政治的にはそれでよい話であるけれども、市民の人たちに協力を要請してまで今回実施することの意味をご理解いただけたらと思います。

記者 15億円というのは、小学校何校、中学校何校、教室数を教えてください。

市長 小学校は12校で、中学校は8校の計20校です。小中一貫校があるので、施設としては19校になります。教室数は29年4月1日ですが、文科省のデータで、小学校が273教室、中学校が120教室、合計393になります。小中合わせて400ぐらいです。

記者 課税課にお聞きしますが、ふるさと納税のエアコンサポートコースでどれくらい集まっているんでしょうか。

市担当者 今現在エアコンに関しては、23件83万円です。

記者 暑くなった7月以降急に増えたということはあるですか。

市担当者 当初からコースが10ありますが、一番多いのが市長におまかせで、57件1,476,000円です。(エアコンは)2番目ですが、実質では一番注目されていると思います。

市長 ブログに書いた当時は30数万円でした。その後テレビに取り上げていただいたり、私もブログに載せたこともあって増えたということはあると思います。

記者 市長におまかせの分はエアコンに使いますか。

市長 今回は市長におまかせでいただいている分は、全てエアコンに使いたいと思います。

記者 今回、エアコンの設置を全部やろうと思った一番の理由は何ですか。

市長 いろんな市民の声もありましたし、今年の暑さというのは尋常ではなかったというのはあります。豪雨災害もそうなんです、私が市長になってから災害対策本部を毎年設置しています。今年の暑さが一過性のものであれば、従来予定していたように中学校を先にして、その後に小学校というのでいいのかなと思っていましたが、来年梅雨明けが早くてまだ子どもたちが学校へ行っている時間帯に38℃と、教室の中でもWBGTが31を超えることになれば、学校に来ること自体が不適切であるということになってしまうわけです。終業式を短縮したり、学校でもいろいろと努力をさせていただいていますが、それで対応できる限界を超えつつあるなど、また来年同じようなことがおきないという保証はできませんし、多分気象庁もできないと思います。災害級の暑さが来年も起こる可能性は十分ありますので、そういう前提で考えなければならぬほどの今年の暑さだったと思います。

記者 整備費の15億円をなんとか圧縮させたいとおっしゃっていましたが、15億円はすごいお金

なんですが、まず何にこんなにお金が掛かるのですか。クーラーが普通の家比べて高いのか、工事がかかるのか、どこが一番かかるのですか。

市長 まずエアコンをどのように設置するかということで、天井に埋め込んでするケースが多いのですが、天井に配管をしたり、また、今までの電気使用量に比べ圧倒的に増えるので、電気系統の抜本的工事が必要になります。ただ入札などで下がっていく部分はあると思います。全体的な電気工事を抜本的にしなければならないということでこれだけかかります。ただ、もう少し工事の仕方とか発注の仕方とかで、下がるようしっかりと考えていきたいと思っています。

記者 事業の見直しとかおっしゃっていましたが、市の職員の給料をカットしてエアコンをつけるという可能性はあるのですか。

市長 今のところはそこまで考えておりません。生駒市の職員はどの自治体よりもたくさん働いてくれていると思います。

記者 今年度の中学校の設計の当初予算はいくらですか。

市担当者 約2,000万円です。

記者 中学校だけで2,000万円、小学校で2,600万円ですね。整備費15億円は設計も合わせてですか。

市担当者 設計は別です。

記者 整備費は、工事費を指しているんですね。

教育振興部長 はい。

記者 補正予算は、臨時議会を開くということですか。

副市長 次の議会が9月ですが、逆算して間に合わなければ、8月中に臨時議会をお願いすることになります。現在は調整中です。

記者 元々の計画では、30年度に中学校を予定だったということですが、最も早ければいつできる予定だったんですか。

市担当者 31年度中に設置する計画でした。

記者 計画では32年の春までにとということですね。小学校は。

市担当者 まだ未定で、その後ということで、はっきりしておりませんでした。

記者 一番早く工事に入るのはいつですか。来年の夏までにとことはいつまでに工事が終わるのですか。

副市長 工事としては6月末までに終わりたいと思っております。そうすると新年度の4月にかかっていたのでは間に合わないので工事も30年度でということですよ。

記者 特に非常事態がなかったら、6月に市内小中学校の全普通教室に設置されるということですね。

市長 はい。

記者 現在3.1%設置されているというのはどこに設置されているんですか。

市担当者 普通教室の中でも特別支援教室とかです。例えば体温調節とかができにくいお子さんが入って来られるということならその都度先に設置をします。そういう部屋がいくつかあるということです。

記者 今年は学校のプール解放はしないんですか。猛暑で止めたんですか。

市担当者 小学校12校ありますけれども、ほとんどしておりませんが、数校は今年度も実施しております。数は今把握していません。

記者 もともとやっていて暑さで止めたというところもあれば後で詳しく聞きます。

記者 P T Aの募金では、P T Aの了解は得てますか。

市長 はい。なんらかの形で応援してもらおうということを会長にお願いをしております。

記者 P T Aの正式名称は。市内の20校の代表ですか。

市担当者 はい、生駒市P T A協議会です。エアコン設置については、以前から要望されていたので、設置に当たっては協力すると言っておられました。

記者 いつ合意したんですか。

市担当者 お話は昨日させていただきました。

記者 P T Aというのは、保護者を指しているんですか。

市担当者 基本的には、教員と保護者の両方ですが、主に保護者の方を想定してお話をさせていただいております。

記者 募金活動は、T（先生）ではなくて、P（保護者）ですか。

市担当者 校長会というのがございまして、その中でもいっしょにさせていただくということです。

記者 校長会も同意しているんですか。

市担当者 はい。

記者 募金に少し違和感があって。従来エアコンを設置しているところと違い、なぜ保護者を動員しなければならないんですか。

市長 行政でやるのが基本ですが、エアコンの話は保護者や市民の皆さんに関心を持っていただいておりますし、具体的に応援できることはないかなと言ってくれる人もかなりありますので、今回ふるさと納税のコースに元々あるということも踏まえて、市民の皆さまにもお力添えいただけるところはお願いをして、強制になってはいけませんが、市民と保護者のお力をいただいて進めていきたいと考えております。

記者 なぜ小紫市長以前にこういう話にならなかったのか。他の自治体では100%設置しているところがある中で。

副市長 エアコンが設置されはじめたのはそんなに古いことではないと思います。今までの7月の通常の気温の中では、今年度のようなことは想定していなかったということです。生駒市ではまず耐震化、トイレの改修の要望の方が、保護者とか学校の方からの要望が強かったので、そちらの方から順次やってきたという経緯があります。生駒市では耐震化に関しては昭和56年の基準変更の前に沢山学校を作ってしまったので、まず耐震化にお金が掛かっていたというのは事実です。その後トイレの要望が多かったということでエアコンが後回しになったということです。

記者 他の自治体と違うのは耐震化の必要性が相対的に多かったということですね。10年前から大阪市や京都市がつけていたのには生駒市は反応しなかったのですね。

副市長 生駒市では、クーラーの設置より、病院問題とか給食センターの関係に、特に病院が大きかったと思います。

記者 大阪市がエアコンを設置した大きな理由は、学力テストが低いからということで、学力面で授業日数を確保したいということで、夏休みを減らして勉強ということでしたが、生駒市は高いですね、同じような動機はなかったということですか。

市長 エアコンを設置して授業日数に余裕があれば、各学校で特色のある教育をやってますけれども、

日数がないのでできないという声もある中で、単に学力ということではなくて、子どもたちのためのより充実したプログラムが必要という要素は生駒市にもあります。

記者 エアコンを来年つければ、夏休みを減らすという発想はあるんですか。

市長 それも検討はしていきます。

副市長 今年でも異常な状況ですので、登校と下校の段階で、救急車で運ばれる子どもがいるので、こういうことを考えていくと、短絡的に夏休みを少なくしてというのはありません。

市長 京都は教育長も知っていますが、教育に力を入れているのは間違いないです。大阪は、トータルでみると教育面にいろんな課題があります。エアコンだけは何年か前にやったということで先見の明があったということですが、我々は大阪市より教育面でしっかりやっていることは多少ありますので、エアコンだけ強調するのはどうかと思います。

記者 県内では、生駒市を含めて%が低いということで、生駒市が奈良市や橿原市がやらないことを先んじるということについては。

市長 他に比べてというよりは、絶対的に今年暑くて、通学や教室内で倒れてもおかしくないとかで、なんとかしなくてはいけないというところが動機です。生駒が動いたことで、奈良市や橿原市が考えるという動きになってくれば、それも合わせて県からのご支援もより前向きに考えてくれるようになれば非常にいいことだなと思います。奈良市長や他の市長にもこの話はしていきたいと思います。

記者 15億円は起債するんですか。国の補助は3分の1でしょ。基金はどうですか。

市担当者 起債も当然入ってくると思います。もちろん経費の削減も。

市長 国の補助は実質的に工事費の全部が対象にならず6割ぐらいで、その3分の1なので5分の1か6分の1でしょうね。

記者 12月議会では、財源はとりあえず、起債ということですか。基金からも出るんですか。金額の何割が起債になるんですか。財源のことを書きたいのですが。

市担当者 補助金がなければ、起債は100のうちの75ぐらいになりますが、今後12月議会までに整理したいと思います。

記者 予算カットは微々たるものになると思うので、また寄付も1億も集まらないでしょうし、起債等でよろしいですね。

市担当者 書き方としては「起債等」でよいと思います。

記者 3.1%はいつの数字ですか。今年は。また12市で高いところはどこですか。

市担当者 29年度4月1日です。今年も同じです。

市長 29年の4月1日ですが、葛城市の中学校は100%、補正のタイミングがうまくいったと聞いております。小学校が1.3%と低いので、全部では30%っていないということです。2ケタ以上設置しているところは五條の中学校で、75%少しです。それ以外は10%を超えているところはありません。29年度以降の数字はわかりませんので各市に聞いてください。

記者 募金に保護者を巻き込むことはなにか違和感があります。他市は保護者を巻き込んでいないんですよ。小紫市長はリーダーシップを取ってするということですが、例えば高齢者施設をつくるときにお年寄りに募金を出させるのかということになる。受益者だから出させるというのかどうも。

市長 そこは考えどころだと思いますが、ごみの有料化もそうですが、強制ではなく、あくまでボランティアでということ。中学校だけでなく小学校もいっしょに設置するなら応援するという声もたく

さんあります。他の自治体でやっていないのでやらないという考え方には立たず、子どもたちの安全安心に必要なことなら生駒市がリーダーシップをとってやるということです。高校のエアコンを保護者やPTAの支援を受けてやっているところはけっこうありますが、義務教育である小中学校のエアコンを市民にお願いするというのは、全校でもほとんどないと思います。強制でなければ問題ないと思っておりますので、小中学校でエアコンの整備、又はランニングコストを含めて市民の力を借りてやることに挑戦したいと思います。これはエアコンだけではなくて、これからいろんな市政をする中で、市民の方から寄付を頂いて、しっかりとまちづくりに生かしていくということは、全国的に特に先進地では増えていくと思います。(生駒では)木田文庫とかピアノの寄付がありますが、そういう思いをもっている方はけっこうおられるので、それをきちんと受け止める「受け皿をつくる」ということと、募金をお願いする以上は、我々が市政をきちんとやっていないと募金していただけないので、市職員も気を引き締めて、しっかり市政を進めるというすごくいい循環になっていくと思います。募金をお願いする以上、他の自治体に負けないような市政をやっていくということです。

記者 これだけ税金を納めているのに生駒市はさらに募金を求めるのか、ということもあると思いますが。

市長 「応援したい」という人もたくさんいます。その受け皿は必要です。その分我々も市政をがんばるということになります。これだけ暑くてもエアコンはいらないという人もおられるし、新しい動きには必ず何かしら反発の声があると思っています。

記者 粗品は何円相当ですか。

市長 数百円のほんのお気持ち程度です。

(了)